

とっとの

青少年



No. 132

平成23年3月発行 編集・発行

青少年育成鳥取県民会議

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

鳥取県企画部青少年・文教課内

TEL 0857(26)7078

FAX 0857(26)8110

E-mail t-youth3@infosakyu.ne.jp

ホームページアドレス

<http://www.infosakyu.ne.jp/tpayd/>

平成22年度主な活動

- ★ 青少年育成鳥取県民会議 新任副会長一年を振り返って
- ★ 第2回「家庭の日」絵画作品 入賞者
- ★ 第44回青少年育成鳥取県民大会
- ★ 青少年育成鳥取県民会議及び市町村民会議会長意見交換会開催
- ★ 高校生マナーアップさわやか運動
- ★ 「青少年育成団体助成金」
- ★ 第32回「少年の主張」鳥取県大会

就任一年を振り返って

副会長 田中 朝子

副会長に就任し、早一年が過ぎようとしています。

子どもたちの目を見て、声を掛け、手を携えて笑顔で繋がり合える運動を繰り広げていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いします。

青少年育成鳥取県民会議は、昭和41年の運動発足当初より、青少年が健やかに育まれる“家庭づくり”を重要な柱の一つとして掲げ、『毎月第3日曜日は家庭の日』として啓発し、更にこの活動を深めるきっかけとなるよう、昨年度に引き続き「家庭の日」絵画作品の募集を行い、県内の小中学校の皆さんから多くの作品が寄せられました。審査を通して、子どもたちが家族の一員としての役割を持ち、心身共に健やかに暮らしている様子が感じられる作品に触れることができました。家庭でゆったりと微笑み合い、見つめ合う姿が伝わる作品から子どもたちが豊かな体験をして長い人生をたくましく生き抜く意欲や気力、能力や技能を私達大人の責任として育てなくてはと思っています。

9月には「少年の主張」で、中学生の日頃の実践や体験に基づいた澁刺とした「息吹」を感じる素直で新鮮な感覚の内容に頼もしさを感じました。青少年の皆さんには、社会の一員としての自覚と自立、そして健やかな成長を願っています。こうした社会性の育成に県民の皆様の御理解と関心の高まることを期待しています。

就任して青少年育成鳥取県民会議の活動に取り組む中で「動いて感じる」まさに感動することの多い一年でした。各々の事業の度毎に、委員の皆様、県内各市町村の推進指導員の皆様の地道な中にも熱意がこもった活動力と実行力、指導力を発揮されている姿に深く感銘し厚くお礼申し上げます。

新年度もまた一人一人の青少年の思いを大切に、長く柔らかな耳でアンテナを張り、ピョンピョンとウサギ跳びで気持ちの良い年となりますよう願っています。

第2回「家庭の日」絵画作品募集



↑ 巡回展（米子市児童文化センター）

昨年度に引き続き「毎月第三日曜日は家庭の日」を鳥取県に定着させるために「家族」というテーマで第2回「家庭の日」絵画作品募集を行い、県内の市町村民会議に、小中学生の皆さんから229点の作品が寄せられました。その中から各市町村民会議での審査会を経て、県民会議に推薦していただいた60点の作品を更に審査して、小学生低学年の部・高学年の部・中学生の部で最優秀賞2点、優秀賞2点、優良賞5点の9名を、10月17日（第3日曜日）に開催した県民大会で表彰しました。

今後も毎月第3日曜日は「家庭の日」を一人でも多くの県民の皆様にご存知になっていただくよう、啓発活動に力を入れていきたいと思っております。

☆入賞者

〔小学生低学年の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	鳥取市	末恒小学校	3	やまぐち しゅんや 山口 峻也	牛も家族
優秀賞	米子市	和田小学校	3	すみ 角 角 和香	家族とサイクリング
優良賞	鳥取市	米里小学校	3	さわだ もえ 澤田 百永	くすぐり合いこ
優良賞	八頭町	安部小学校	1	おさき なみ 尾崎菜々美	かぞくで、さんぽしていたら ほしが、きれいでした。

〔小学生高学年の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	鳥取市	浜村小学校	5	あめかわ こうせい 雨河 倅生	家族と花火
優秀賞	鳥取市	若葉台小学校	4	まえた けん 前田 健登	今日はみんなでカレー作り
優良賞	鳥取市	鹿野小学校	6	はしの かすみ 橋野 香澄	手伝い
優良賞	米子市	淀江小学校	6	まつしま かずや 松嶋 和弥	みんなで ご飯！

〔中学生の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
優良賞	米子市	淀江中学校	3	かわい ゆうき 川井 友貴	いろいろな家族

第2回「家庭の日」絵画作品 入賞者作品

小学生低学年の部



優秀賞 和田小 角 和香



最優秀賞 末恒小 山口 峻也



優良賞 安部小 尾崎 菜々美



優良賞 米里小 澤田 百永

小学生高学年の部



優秀賞 若葉台小 前田 健登



優良賞 鹿野小 橋野 香澄



最優秀賞 浜村小 雨河 倅生



優良賞 淀江小 松嶋 和弥

中学生の部



優良賞 淀江中 川井 友貴

「第44回青少年育成鳥取県民大会」

平成22年10月17日（日）琴浦町赤碕地域コミュニティセンターで開催

本年度の県民大会は、地元琴浦町の『白鳳子ども太鼓』の皆さんの元気な
ばちさばきにより開会しました。

「家庭の日」絵画作品入賞者の子どもとその家族の参加もあり、会場は和
やかな雰囲気になりました。

青少年育成活動功労者顕彰、絵画入賞者の表彰に続いて、「少年の主張」
県大会で最優秀賞受賞の中島萌々子さんが、夢に向かってなりたい自分を目
指して頑張っていきたいと力強く発表していただきました。

また、会場前に、「家庭の日」絵画作品の入賞作品9点をはじめ、各市町
村民会議から推薦された60作品の展示と、琴浦町で展開しておられる「ことうら10秒の愛♥キャンペ
ーン」の標語の展示があり、来場者に鑑賞していただきました。

大会を通じて、家庭の大切さ、青少年が健やかに育つために大人ができることと併せて、絵画や作文か
ら子ども達の思いに触れることができました。

（１） 青少年育成活動功労者顕彰（顕彰団体2団体、顕彰者5名）

関金子供歌舞伎 保存会	昭和63年から、小学6年生を対象に八犬伝をモチーフとした子ども歌舞伎に取り組み、 毎年9月に開催される「里見まつり」、福祉施設で公演を行っておられます。
境港フォレストクラブ	2005年から5月5日に「こどもペーロン大会」の主催、薬物乱用防止の講演会、モニ ュメントの設置など、青少年健全育成に活動されています。
山根 博 様	東郷地域学校安全推進委員・地区児童民生委員として、健全育成に尽力されています。
尾崎 翠 様	ボーイスカウト鳥取第1団の指導者として長年にわたりスカウト運動の発展等に尽力さ れています。
河野 誠司 様	子ども達の見守り活動や、高城地区子どもいきいきプラン実行委員長として、自然体験 を通した青少年健全育成に尽力されました。
河崎 正 様	長年、夜間街頭指導等の青少年健全育成活動の実践や、小学生の下校時に合わせた見守 り活動を続けておられます。
井熊 都子 様	長年、ガールスカウト鳥取県第3団委員長として、リーダー・スカウト・保護者が楽し く充実した活動ができる組織作りに貢献されました。

（２） 「家庭の日」絵画作品入賞者 表彰式



低学年最優秀賞 山口 峻也 さん



高学年最優秀賞 雨河 倅生 さん



受賞者のみなさん

（３） 第32回「少年の主張」最優秀賞

「ダンスの力が与えるもの」

倉吉市立西中学校 2年 中島萌々子さん 発表

（本紙9頁に全文掲載。当県民会議のホームページでもご覧になれます。）

(4) 平成21年度青少年育成団体助成金交付団体の活動報告

発表者：スローライフクラブ八頭 総務部長 本田 陽二 氏

助成対象事業：「第2回 家族ふれあい人形劇 in やず」(平成21年10月10日実施)



平成19年12月結成。三浅保則会長 以下会員41名。

八頭町内の豊かな暮らしの中で、都市と農村の交流を実施しています。平成20年の「かまくらまつり」「扇ノ山山開き」「コスモス栽培」に始まり、「第1回 家族ふれあい人形劇 in やず」として、人形劇を活用した地域活動を実施しました。平成21年度、「第2回 家族ふれあい人形劇 in やず」を実施するにあたり、助成を受け

多くの老若男女が集いました。この活動は人形劇を観劇してもらうだけではなく、家庭で感想を含め話をする時間を持つ事が大事だと考えています。活動は地域に根差して長くやっていくことが基本で、子ども達からは、やっている人の顔が見えることが大事だと思います。

(5) 講演

演題 「子どもとともに子育て親育ち」

講師 児童書を楽しむ会 つくしんぼ代表 山田節子氏

【概 要】

本業は、居宅ヘルパーで、自身の子育てに絵本を取り入れた経験から、子ども達に絵本の魅力を伝え、親御さんには絵本の読み聞かせを通して幸せや楽しさを伝えたいという思いで続けています。

演題の『子どもとともに』は、我が家の家庭文庫だよりのタイトルです。

片山知事の時代、子どもフォーラムで、鼎談をしました。その時、鳥取大学の田丸教授が、「国のミッションを受けてやっていたが、子育て子育てと叫ぶのは親御さんに重い荷物を背負わせるのではないかな。親も一緒に育ってという思いから親育てをどんどん広めたい。」とおっしゃいました。私は、子育てを終えた一人として、子どもの笑顔を引き出したいと思っています。

20数年前は、読み聞かせはポピュラーではなかったのですが、1歳半の我が子が、夜なかなか寝ないことを近所のお母さんに相談し、絵本一冊読んだら寝るという習慣づけをしました。子どもが3歳になる頃に、地域の子どもを迎え入れる文庫活動を始めました。活動をするうちに、たくさんの子ども達に本の楽しさを直接伝えたいという思いが募り、共感した人が集まり「つくしんぼ」が発足し、文庫活動だけではなく、地域ぐるみで子育てを、ということで「母親クラブ」を立ち上げました。

学校や保育園での読み聞かせのほか、6ヶ月児健診でのブックスタート、1歳6ヶ月児健診・3歳児健診でも読み聞かせとして関わっています。6ヶ月健診でのお母さんは、とても幸せそうにしています。その様子を見ていると温かい気持ちになりますが、1歳6ヶ月児健診では、親の状況が様変わりします。楽しんで子育てしている人と、やんちゃになってきた子どもに、絵本を読む数分を楽しめずイライラしている余裕のないお母さんと二極化していますが、3歳児健診での親の二極化はありません。健診会場では、お母さんにリラックスしてもらい、子どもと笑顔で向き合って欲しいとの思いがあります。

子どもの親になるのに免許証はなく、子どもが生まれて親にならせてもらうのだと思います。それぞれの子どもによって向き合い方が違います。

子育て子育てと声高に叫ぶと、良い親を演じてしまい本音で子どもと向き合えないこともあります。親はこうあらねばならないと考えすぎないで、地域には子育てお助けマンがたくさんいますから力を借りてもいいと思います。

絵本とは、①言葉を育む道具で、美しい日本語がちりばめられている。②感じて楽しむ道具で、本当の事のように想像できる。③絵本は5分もあれば読め、親子で共感体験ができる。また、自己肯定感を高めたり、親と子ともう一つ何か・親と子ともう一人誰かなどの三項関係が築けます。

琴浦町の「10秒の愛」の活動のように、忙しい親はわずかな時間でもギュッと子どもを抱きしめたり、肌の温もりを感じ合いながら絵本を開き、楽しい時間を過ごしてほしいです。

種蒔きしてきたことは、必ず子どもに届くとひしひしと感じています。子ども達が親になった時、子どもの頃の楽しい記憶があれば、楽しく子育てができると思います。絵本を取り入れた子育てを、子どもとともに大人も楽しんでほしいです。



☆青少年育成鳥取県民会議市町村民会議会長意見交換会

〔第1回〕 日 時 平成22年6月15日（火） 13：30～

場 所 倉吉交流プラザ 第1研修室

出席者 市町村民会議 会長・副会長：12名

事務局：14名

県民会議 5名

議 題 ・平成21年度の県民会議と市町村民会議の連携事業に関する総括

・平成22年度の県民会議と市町村民会議の連携事業について

① 第2回「家庭の日」絵画作品募集について

② 「青少年育成団体助成金」について

③ 県民会議ホームページの活用について

④ 各市町村民会議の平成22年度の予定



〔第2回〕 日 時 平成23年1月26日（水） 13：30～

場 所 倉吉未来中心 セミナールーム1

出席者 市町村民会議 会長・副会長：8名

事務局：14名

県民会議 9名

議 題 ・平成22年度の県民会議の事業実績について

・第1回意見交換会での意見に対する対応について

・県民会議の事業に対するアンケート集計結果について

・平成23年度の県民会議と市町村民会議の連携事業について

① 「青少年育成団体助成金」について

② 第33回「少年の主張」鳥取県大会について

③ 第45回青少年育成鳥取県民大会について

④ 第3回「家庭の日」絵画作品募集について

⑤ 青少年育成推進指導員・研修について

⑥ その他の事業・運動についての要望等

・各市町村民会議からの意見交換

市町村民会議の声

- 「家庭の日」絵画作品募集について、作品を見ながら、親と子の家族の捉え方、居場所の捉え方、親子の時間の大切さを感じました。
- 「家庭の日」のPRをするチラシ等があればもっと啓発できたのではないのでしょうか。
- 今回出た意見は委員会にあげ、事業に反映するようにしてほしい。
- 「青少年団体助成金」について、3件の助成では少ないのではないのでしょうか、また、継続助成はできないのでしょうか。
- 「県民大会」について、10月の第3日曜日開催の事業とタイアップするのはどうでしょうか。
- 「家庭の日」絵画作品募集について、中学生の応募が少なかったが、絵画ではなくポスターにすればどうなのではないでしょうか。

第1回の開催時に、事業に反映する会にしてほしいという意見を受けて第2回を開催しました。委員会でも、この意見交換会に出席したいとの意見があり、6名の参加がありました。

☆高校生マナーアップさわやか運動（平成 22 年 4 月・9 月実施）



鳥取駅前にて ↑

平成 22 年度の高中生マナーアップさわやか運動を 4 月 20（火）から 23 日（金）、9 月 14 日（火）から 17 日（金）の各 4 日間に開催しました。JR 駅、各高校前では、県民会議関係者は 4 月には延べ約 1800 名、9 月にも約 1500 名の方に参加していただき運動を展開することができました。今後も県民運動として皆様に浸透していくよう、啓発していきます。



松崎駅にて ↑



米子駅前にて ↑

参加者の声

- ・参加者が過去最大規模となり、県民運動として大きく展開できた。
- ・回数を重ねる毎に生徒中心の活動へと気運が高まり、高校生のイベントとしても定着しつつある。
- ・運動初日の挨拶は消極的であったが、日を迫る毎に改善されたように思われる。

☆平成 22 年度青少年育成団体助成金交付団体

平成 22 年 6 月に「青少年育成団体助成金」の助成団体を募集し、6 団体から応募がありました。7 月 7 日開催の審査会におきまして、下記の 3 団体に助成させていただきました。

- 団体名：境港市民会議中浜地区部会
事業名：夏休み親子キャンプ
- 団体名：蒲生地区青少年育成会
事業名：野外活動「蒲生っ子まつり」
- 団体名：青少年育成湯梨浜町民会議
事業名：直接体験活動（ポニー乗馬体験）
雨天のため中止
(助成金は返納していただきました)

※平成 23 年度も「青少年育成団体助成金」の助成団体を募集します。
ぜひ、活動に御活用ください。

第32回「少年の主張鳥取県大会」

と き 平成22年9月15日(水) 13:30~16:00

ところ 米子コンベンションセンター 小ホール

県内20の中学校より応募総数1,904編の中から、事前審査・第一次審査を通過した11名の発表者の中より、**最優秀賞は倉吉市立西中学2年 中島萌々子さんの「ダンスの力が与えるもの」**が受賞されました。

当日は、米子市立湊山中学校2年の生徒及び先生はじめ、米子市の多くの方々の来場により会場は満席となり、発表者一人一人の主張に耳を傾け、中学生の豊かな心と鋭い感性に感動頻りの会場内でした。

結果発表

最優秀賞（県知事杯）	「ダンスの力が与えるもの」	倉吉市立西中学校	2年	中島萌々子さん
優秀賞（県教育長杯）	「唯一の女子部員」	境港市立第一中学校	2年	山下 涼音さん
〃（県議会会長杯）	「一步踏み出す」	倉吉市立東中学校	3年	渡部 華成さん
〃（市長会長杯）	「自分らしく、人間らしく」	倉吉市立西中学校	3年	浅田さつきさん
〃（町村会長杯）	「努力の人」	境港市立第三中学校	2年	西山 泰智さん
〃（NHK局長杯）	「勇気ある一步」	三朝町立三朝中学校	3年	尾崎 奈菜さん



中島さんの表彰の様子

優良賞（五十音順）

「先輩として」	米子市立東山中学校	2年	天野 凌我さん
「おかえり」	境港市立第一中学校	3年	石川 佳菜さん
「私の道—十四歳の決断—」	米子市立後藤ヶ丘中学校	3年	國野 菜月さん
「私の夢」	琴浦町立東伯中学校	3年	武信 樹さん
「みえないぬくもり」	倉吉市立東中学校	3年	田辺 華菜さん



司会者



石賀審査委員長講評



←入賞者全員で記念撮影

審査結果・表彰が終わり、ほっとした中で審査委員の方々と一緒に記念撮影となりました。

※来年度は中部地区での開催です。お近くの皆様は、中学生の生の声、思いに触れるチャンスです。是非御来場ください。

第32回 「少年の主張」鳥取県大会

最優秀賞（県知事杯）作品

題 名 「ダンスの力が与えるもの」

倉吉市立西中学校 2年 中島 萌々子

嵐のような拍手が私を包む。私はこの瞬間が一番好きだ。ステージの上で息をきらしながら心の中で”やったぞ“とつぶやく。

八年前、私はダンスを始めました。父の知り合いの子どもがダンスをしていて、誘われたのがきっかけでした。

見学をしたら、やってみたいと思ってダンスを習い始めました。そのころの私はとてもはずかしがり屋で、自己紹介も自分で言えないほどでした。でも、ダンスをやっているうちにだんだんとはずかしがり屋ではなくなっていました。授業中の発表は今でも少し苦手だけど、ステージの上で踊る時は逆に目立ちたがり屋になります。

人前で話すことは苦手なのに、人前で踊ることは大好きです。

毎年、必ず発表会があります。去年、HEART2という大きな発表会がありました。私はその中の六曲を、スポットライトを浴び、思いっきり全力で踊りました。

その発表会が終わり、何日か過ぎたある日、先生が私たちに話してくれました。

HEART2をある女の子とその子の友達が見に来ていました。女の子は不登校だったそうですが、一緒にダンスを見に行こうと友達に誘われて、頑張ってきたそうです。ダンスを見てからその女の子は変わったそうです。自分から学校に行くと言って、今は学校に毎日行っているという話でした。その女の子のお母さんが先生にそう言ったそうです。

それを聞いてすごく嬉しかったです。ダンスを見に来てくれた人に元気や勇気をあげられたんだと思うと、それからもっともっと頑張りました。

私はある事に気づきました。今までは一生懸命踊ることだけに集中していたけど、ただ一生懸命踊るだけではなくて、人に元気や勇気をあげたいから、まずは自分が笑顔で楽しく踊らないと見ている人には伝わらないのではないかと気付きました。

踊っている人も楽しく、見ている人も楽しくなれるのがダンスの良い所だと私は思います。ただ、「楽しさ」を伝えるといっても、曲によって表現の仕方が違うので、全てが楽しく踊っているわけではありません。悲しい表情をしたり真面目な表情をしたり、顔だけではなくて体全部でそれを表現しないといけないのですごく難しいです。それをまた、どのようにすれば見ている人に伝わりやすいかを考えるのがあの女の子のおかげでよりいっそう楽しくなりました。

私はダンスをしている時、何もかも忘れることができます。ダンスに集中しているし、踊っている最中は「幸せだな」と自然に思います。たとえ失敗してしまっても、本気でやってまちがえたなら悔いがないから次、頑張ろうと思います。これはステージの上でも同じです。私は、舞台の後ろにいても前にいても、どこに立っていても精一杯悔いのない踊りをこれからも踊っていきたいです。

ダンスを見に来て下さった人に元気や笑顔をたくさん持ち帰ってほしいです。そして、明日も頑張ろうという明るい気持ちになっていただければとても嬉しいです。そういう人が一人、また一人と、どんどん増えていくようなダンスを踊っていきたいです。

私は、これからもダンスを通して、人に元気や勇気、そして笑顔をあげたいです。

スポットライトが一瞬にして消え去る。それと同時に嵐のような拍手が会場を一つにさせる。このこちよさがたくさんの人にいつまでも続くようにと願う。

私の顔が、自然と笑顔になった。

毎月第3日曜日は、
『家庭の日』

青少年の心を育てるキャンペーン



できることから、大人から。